



KIBO NO NIJI きぼりの虹

発行所
 北海道大学生協同組合
 札幌市北区北8条西7丁目
 教職員委員会編集
 電話 011-746-6218

主な記事紹介

- 二面・三面 湯けむりから見える現代人の健康 第7回「にじり湯」は好きですか？
- 五面 2015年度 通常総代会を開催しました
- 六面 こころの健康を考える③(4) 網走公園や、そのほか
- 七面 植物園に行こう 第2回

北海道大学大学院 大塚 吉則
 教育学研究教授
 北海道大学大学院 渡 邊 誠
 教育学研究教授
 北海道大学大学院 富士田 裕子
 教育学研究教授

私は学部生時代、水泳部に4年間所属していました。体育会に所属していた私が生協関連の団体である院生委員会に今所属していると考えると不思議です。私は部活動を引退した後、研究室にこもり、日々実験をする生活が続き、大学院へ進学して、この環境が変わらない生活を続けて楽しいのだろうか？と疑問を持ち、院生委員会への活動参加を決意しました。今では他専攻の友人もでき、また生協職員という新しいジャンルの方々ともお話しする機会ができて有意義な時間を過ごしています。

友人からは「院生委員会って何やってんの？」とよく聞かれます。この質問には、非常に困ります。私もまだ1年間しか所属していませんので、生協とかよくわかりません。正式名称「北海道大学生協同組合院生組織委員会」。学生委員会はみなさん想像しやすいと思います。そのため、「学生委員会の院生バージョンだよ」と私は説明しています(学生委員会の方には申し訳ありませんが)。実際の活動としては、他大学や専らから北大大学院に入学してくる人達のために大学案内パンフレット(『いんでないかい』)を発行したり、大学院生の読書を推進するために書評誌『ほんでないかい』

買・書籍部、そして共済です。食堂で朝・昼・晩とご飯を頂き、購買店で後輩にごつつあんし、書籍部でTOEICの参考書を買ひ、実験や部活で怪我をした時のために共済に入らされる。食堂の掲示板などに要望を書いたところで何も変わらないだろうし、購買部よりもセ〇ンの方が便利ですし、共済の他に保険入ってますし…と

Opinion!

「生協ってなんだ？」
大事な大学院生の声



院生委員会委員長
小林 士

を作ったり、大学院生同士の交流を目的にジンプナなどの交流会を企画したりしています。

ここでテーマの「生協ってなんだ？」です。冒頭で説明したように私は学部時代、生協の知識は皆無でした。私が大学生協といわれすぐ思い浮かべるのは食堂・購

思っていました。ほとんどの大学生・大学院生はこんな感じのイメージではないでしょうか。

しかし、院生委員会に入ってから生協職員の方々とお話しする機会が増えた私は考えを改めるようになりました。実際にお話しすると、より多くの学生・教職員の方々に使ってもらおうと考えているようです。そのため、どうしたら生協を利用してもらえるか、学生の声々をとても大事にしています。

大学生協のメインユーザーは学部生・院生です。特に我々「大学院生」の声は重要だと思っています。大学院生は学部時代から教えられる4年以上大学生協を利用しては「ビューザー」です。生協の知識はなくても、長年利用しているだけあって生協店舗のメリット・デメリットがわかっていきます。だからこそ今、大学院生の声や意見が求められています。私たちが改善点を生協職員へ伝える↓改善する↓私たちが便利に使える↓売り上げが上がる↓さらに改善点を生協職員へ伝える↓…こんなサイクルを作れるように院生委員会は上記以外に日々活動しています。意見をくださるだけでも結構です。關心のある方は院生委員会のメールアドレス(6面参照)までご一報頂けると幸いです。

シリーズ 湯けむりから見える現代人の健康

第7回

「にごり湯」は好きですか？



北海道大学大学院教育学研究院教授 大塚吉則

はじめに

読者の中にはにごり湯が好きの方が沢山いらっしゃると思います。私も白色に濁った硫黄泉を見ると、「いいな」と入りたくありません。でも、茶色に濁った鉄泉は「どうなのかな」と思っています。これは純粹に好みの問題です。さて、にごり湯になる代表的な泉質は、硫黄泉と鉄泉ですが、特に前者は白濁しており、肌触りも良く、いかにも温泉に入っているような気持ちになります。後者は手拭いが茶色くなり、金気臭がするのですぐにわかります。温泉好きの女性には、混浴でも比較的安心して入ることができると宣伝されています。このにごり湯、温泉としての性質はどうなのでしょう。以前、JAFが発行した全国のごり湯特集のときに私も解説したことがあります。その本をお持ちの方がいらっしゃるかもしれません。今回はにごり湯を紹介していきたいと思えます。

温泉水の老化現象

地中奥深く、場合よっては1,500mも掘って得られた温泉水は、高温・高圧環境下で生まれます。それが地上へ湧き出た瞬間、空気に触れて酸化され始めます。温度も下がりますので溶解していた各種成分が固まりだし、ガス成分は徐々に蒸発して抜けていきます。このような温泉水の変化を「老化現象」と呼んでおり、温

泉水は湧出後3日程度しか、その効能は続かないとも言われています。

白濁した硫黄泉

実は、白濁している硫黄泉も、湧出したては無色透明です。それが時間の経過とともに濁っていくのです。早朝の入浴時はあまり濁っていないので、加水したのではないかと疑う人がいるようですが、それは誤解で、色が薄いほど新鮮な温泉水なのです。ここまで解説してくると、白濁した硫黄のごり湯には果たして効能が残っているのかどうか、疑問に思いませんか？でもご安心ください。硫黄の臭い（正確には硫黄化合物の臭い、硫化水素等）を吸っているだけでも有効なのは、前回までに解説済みです。

硫黄を含み酸性度が高い温泉として草津温泉があります。高温で酸度が高いので、岩石から色々な成分が溶け込んでいます。湯の花はこれらの溶け込んだ成分が析出して固まったものなので、老化現象の結果であり、それをお土産として売っているのです。かく言う私も買ってしまいました。



写真1 登別温泉

道内の硫黄泉は、札幌郊外の小金湯温泉水のような単純硫黄泉から、酸性で酸性度が強く、他の成分も多数含まれている川湯温泉、登別温泉（写真1）等々があります。

鉄錆色の鉄泉

鉄泉といえば手拭いが茶色に染まることで印象的な温泉ですが、源泉から湧出している源泉の段階では無色透明です。源泉から貯湯槽あるいは浴槽に注がれ、空気に触れている間に酸化されて鉄錆色に変化してきます。この現象もまた、温泉水の老化現象つまりは劣化なのです。こうなると鉄イオンの効能はなくなってしまう。浴槽の温泉水を取り替える（換水）ことは泉質にかかわらず、毎日行うほうが良いのは当然なので

いじわるじいさん

五月四日は、北大植物園を元職員の荒井道夫さんと歩く企画「園散策」の日だった。今年の桜前線は早足でやって来た。去年のこの日見頃だった桜は、今年は残花が一行の足元に舞い落ちる▼クロフネツツジ、ハナズオウ、ヤマブキなど、ピンク、赤紫、黄色と鮮やかさで際立つ低木に見惚れる。ローンに出ると満開の桜が見えた。遅咲きのサトザクラだ。薄紅色のハナカイドウ、藤色のシラネアオイ。色とりどり▼一方、樹々の新緑がまぶしい中、葉の乏しい元気がない樹もあった。荒井さんの話では、都市化による地下水位の低下や大気汚染などの影響らしい▼ローンのセイヨウムラサキブナは風格のある樹形、ハルニレの大木の林。100年以上前の原生林がこのように残っているのだ。樹林の前に立つ私が小さく感じられた。園は「昔の自然地形と植生景観を現在に伝える」という記事が蘇る（富士田裕子「植物園に行こう」本紙前号）▼開園から約130年。いろいろなる事があっただろう。戦時中、ローンは薯畑になった。花の香に立ち止まり、樹の下で爽やかな風に吹かれ、思う。ここはそのまま残り続けてほしい。薯畑にならないで。（今日子）

すが、特に鉄泉の温泉施設は、このことが重要となってきました。また、循環・る過ぎた温泉水よりも源泉かけ流しの温泉水のほうが、より効能を高められる理由も、鉄泉を例にすれば分かり易いと思います。

鉄泉は炭酸鉄泉（主たる陰イオンが炭酸水素イオン）と緑礬（りよくばん）泉（主たる陰イオンが硫酸イオン）に分類され、前者は関節リウマチに、後者は硫酸黄泉や酸性泉と併存するため関節リウマチの他、皮膚病にも有効とされています。鉄イオンを含むので

飲用では鉄欠乏性貧血に用いられますが、鉄泉の基準は1kgの温泉水に20mg以上の鉄を含んでいればいいので、たとえば一日1ℓ飲むとすると、20mgの鉄を飲むことになり、薬として処方される鉄剤は1日100mg程度を服薬してもらいますので、温泉水5ℓにもなります。さらに、酸性の温泉水ですと5倍に薄めて飲んでもらうことになります。

したがって、飲泉で鉄欠乏性貧血を治療しようとするのは現実的ではありません。しかし、普段から貧血にならないように、治療というよりは鉄の補給のために、毎日温泉水を飲むというものはあり得ると思います。この場合、温泉水に含まれている他の成分、酸性度などで飲み方は異なり、極端な場合、齧歯、胃・十二指腸潰瘍などの副作用が発生することもあり、専門家の指導の下に飲泉する

必要があります。

道内の鉄泉といえば、登別温泉の地獄谷では「鉄泉池」という間欠泉を見ることができ、ホテルでも鉄泉を引いて入浴できるところもあります。その他、川湯温泉、恵山温泉など、火山性の温泉地に見かけます。道外では何と言っても有馬温泉の「金泉（ぎんせん）」が有名でしょう。鉄さびの赤茶色を「金」に見立てたのだと思います。有馬温泉を鼻肩にしていた秀吉は透明の鉄泉に入浴していたのでしょうか。少し気になります。

2009年に台湾を訪れた時、東部にある瑞穂（ルイスイ）温泉に連れて行ってもらいました。（写真2）この温泉はまさに鉄錆びた赤茶色で、とても濁っています。部屋の壁には昭和時代のレトロなポスターが貼ってあり、日本の占領時代には警察の保養所があったところだそうです。そこには「台湾の有馬温泉」という宣伝文句が書かれています。

そこに建っている看板を見てみると、「生男之泉」と書かれています。男が入浴すると生き返るのかと思ったのですが、よく読んでみると「子宝の湯で男児を授かることが多い」ということだとわかります。（写真3）

に「こり湯ではないけれど、色の付いている温泉」

硫黄泉、鉄泉以外にも色の付いている温泉があります。モール温泉（モール泉）はご存じでしょう

か。有名なのは北海道の十勝川温泉。2004年度の北海道遺産に登録されています。泥炭層・亜炭層を通過して湧出してくるので、お湯の色は褐色から黒、水中に何かフワフワと浮いている物が見えます。関東で「黒湯」と呼ばれている温泉も、大部分はモール温泉と同じ起源ですが、このモールという名称は鉱泉分析法指針、温泉法のいずれにも記載されていません。植物性の有機物を含み、入るとヌルヌル・ツルツルとした肌触りです。

1959（昭和34）年、北海道大学の医学部附属温泉治療施設であった、斎藤省三先生がドイツ語のモール（Moor、泥炭地、湿地、沼地などの意味）という名称を紹介したのがその始まりのようです。温泉水中に含まれる有機物はフミン質（腐植物質）を含み、腐葉土に似た芳香（モール臭）があります。また、ガス成分を含むことが多く、気泡を見ることもあります。その泉質は単純アルカリ温泉、ナトリウム炭酸水素塩泉、ナトリウム塩化物泉などが多く、それらに準じた効能効果が期待されます。残念ながらモール温泉に特徴的な効能は公式にはどこにも書かれておりませんが、保湿・保温効果に優れること、皮膚の殺菌効果があることなどがわかっています。一般の温泉との見分け方として、分析書の空白部分に腐植質の記載があれば、この種類の温泉と言えます。

実は、この十勝川温泉のモール温泉は、入浴以外にも化粧品や石ケンの原料としても利用されていますが、何とモール温泉を飲ませて育てたモール豚、モール温泉ビール（モール温泉水30%だそうですが、現在販売されていません）なども商品化されました。大阪で開催された学会で、温泉付きホテルに泊まりました。夜、部屋に戻ってきて、大浴場に行く時間もないので、バスルームの浴槽にお湯を溜めて浸かろうと蛇口を捻った瞬間、茶色のお湯がほとばしり出てきました。「えーっ、これって長いこと誰もお湯を張っていないので水道管の鉄錆さび!?

汚くて入れないじゃないの」と思ったのもつかの間、よく見るとモール泉！ゆつくりと浸かりました。お湯の触感が柔らかく、少しヌルツとしていい感じです。美肌の湯だなーと思いつながら、これは得した気持ちになりました。

翌日の夜、今度は期待を胸に大浴場に向かいました。ところが残念。大浴場は大人数での入浴を想定しているの、加水・消毒なども部屋用よりもたくさんしているの、色も薄くなっておりの、これは部屋のお湯の方が状態はいいな」と感じました。でも、大きな湯船に浸かる快感は、また別の意味でいい感じでした。

写真2 瑞穂温泉の浴槽



写真2 瑞穂温泉の浴槽



写真3 瑞穂温泉の看板



キャンパス放浪記 in 函館…第2回

函館、そして、友(トモ)のために

～北水應援團と出港式・帰港式～

北海道大学水産学部應援團 特別幹部 向井 賢太

北海道大学水産学部と言ったら、あなたは何を想像しますか？……海なんだから、やっぱりお魚？それとも船？……実はこの学部には、今年創立42周年を迎える、息の長い団体があります。……知っていますかね？どうでしょうか？(この時点でピンときたあなたはスゴイ(笑)。)……それは、“北海道大学水産学部應援團”です！

…ん？聞いたことがあるよーな、ないよーな？……それでは是非覚えてください、必ず得をしますよ、たぶん…(笑)。

ま、まあ、聞いたことある人もない人も、ぜひその名を、記憶の奥底に留めておいてください！水産学部と縁の深い団体ですから(笑)。……ん？直接的な関係性が見出せないって？…確かに、本来、応援団という組織は、競技への応援が主たる目的であり、この水産という分野とは一見、関係のないように見えますね。……で、す、が、…、実は関係があるんです！ここで、誠に僭越ながら、筆者と筆者が所属する団体の活動について、ザックリとご紹介いたします！



私は、第44代北海道大学水産学部應援團、特別幹部務めます、向井賢太(むかいけんた)と申します。以後、お見知りおきをどうぞよろしくお願ひ申し上げます。特別幹部とは、いわゆる現役相談役のようなもので、現役学生を様々な面から支援する(まあ、別の言い方をすれば、サポーターとでもいったところでしょうか)役職です。主に、在函のOBOGを対象として組織内に設置されます。組織の運営は現在、第44代の団員が行っており、現在4名(+新聞局員1名)で活動しております。

我々の活動は主に3つあり、1つ目には、練習船おしよる丸の出港式と帰港式での実演宣伝(デモンストレーション)、2つ目には北海道大学水産学部体育会各部競技への応援及び壮行会の実施、3つ目には学生向け新聞の発行です。

……………あ、ちなみに、出港式と帰港式って何かご存知ですかね？……………そうですね、分かんないですね。では、簡単に説明します。出港式とは、学生の乗船する洋上実習において、学生たちや船員さんたちの無事と実りある航海を祈念するために行われる式典のことです。また、帰港式とは、無事帰ってきた学生たちや船員さんたちをお祝いするために行われる式典のことです。内容としては、学科長や船長、学生の挨拶がありますが、その中に我々應援團の実演宣伝も含まれています。……………実は、こんなエピソードが……………

この式典はもともと、ある学科のために行われていたものであり、はじめは出港式のみでした。

この学科を特設専攻科といいます。この学科は船員を養成する学科であり、その実習は非常に厳しく辛いと学生の間で有名だったと伺っています。……この航海に参加する学生はこの函館を2～3ヶ月間離れ、厳しい訓練を受けることから、応援団でなんとかこれを応援したいと、式典の前後に、岸壁にて演武を披露し、学生を鼓舞するようになりました(これが実演宣伝の起源と考えられている。当時の應援団員の中にこの科の学生がいたことも大きい)。しかし、出港してしまうといつ帰港するのか、などの航海の詳細は学生には知らされず、予測でしか動けないことに加え、出港式のみ演武を行っていたため、せっかく長い航海から帰ってきたのにも関わらず出迎えない状態が長く続いていました。そこで、第16代の団員たちが学科の学生の労をねぎらおうと大雨の中、横断幕を作成し、船を岸壁まで迎えに行きました。これが帰港式の始まりである、と団誌に記載されております。時代の流れでこの科がなくなると、今度は改組した学科で再度、洋上実習が組まれたため、出港式・帰港式は今なお続く伝統行事となっています。

このように、我々應援團と水産学部には深いつながりがあるのです。

……他にもたくさん紹介したいことがありますが、それは函館に来た際のお楽しみということで……。

皆様の来函及び当團へのご連絡を心よりお待ちしております。



2015年度 通常総代会を開催しました

2014年度を振り返り、2015年度の計画等を決定しました。

総代 196名(実出席 67名、書面議決129名)の参加により、すべての議案が賛成多数で可決成立いたしました。

2015年度総代会は
5月27日(水)開催

議長に高瀬さん(工学部学生)、副議長に市川さん(北方生物圏フィールド科学センター職員)を選出し、柿澤理事長(農学研究科)が生協理事会を代表して挨拶をしました。役



員選挙を行った後、猪瀬学生組織委員長(学生)が第1〜5号議案を提案、高橋監事会議長(教員)が監査報告の後、直ちに質疑・討論に入りました。質疑は例年の発言通告用紙による全体での質疑・討論(Aパート)のほかに、後半に個別テーマでグループに分かれての討論交流(Bパート)を行いました。理事会からのまとめの後、総代196名(内実出席67名、書面出席129名)で採決を行い、全議案を賛成多数で承認・決定しました。また、役員投票の結果全候補者が信任されました。

Bパートとして
総代と生協職員との
意見交換を継続

討論後半のBパートで



は、食堂、購買、書籍、トラベル+キャリアサポートの計4テーマに分かれて30分程度職員と総代との意見交流会を行いました。各グループでは生協学生組織委員が進行役となり、各現場で働く生協職員とその現場に興味のある総代が参加しました。ここで出されたご意見・ご質問等は、理事・組織委員会・生協職員により、今後の生協運営に活かしていきます。

課題と推進

2015年度は、2011年度の総代会で決議した「北大生協の使命とビジョン、アクションプラン」の最終年度です。この5年間の到達点と総括、次の5カ年の中期計画については、

次年度の通常総代会で報告し、提案することをめざします。

大学の福利厚生の一部を安心して任せただけで、北大の生協づくりをめざして、生協から学生生活の変化等(学生生活実態調査、食堂利用調査等)について、大学に情報を発信しながら協力して進めてまいります。

身近で役に立つ、やさしい生協づくりをめざすために、「組合員の声」を中心に、組合員のみなさんごの要望等を把握して、出来るだけ早く改善に結び付けます。品揃え・調理・接遇・広報などで、他店に負けなように努力します。また利用環境の改善に向けた提案を強化していきます。

2015年度の

役員名簿

〈代表理事〉

柿澤 宏昭

専務理事

岸本 敬一

〈理事〉

多谷 司

仲澤 将夫

間宮 春大

羽山 広文

藤田 良治

笠原 敏史

三上 直之

小村 龍之介

大村 直之

山谷 遼大

山崎 貴史

相田 大輔

川崎 安紋

中谷 操希

前田 侑紀

猪瀬 侑巧

白戸 しおり

中山 拓登

高橋 真太郎

〈監事会議長〉

坂爪 浩史

〈監事〉

芦名 優一

梶原 龍之介

本間 健太

吉見 宏

心とからだ健康を考える

大学院教育学研究院 准教授

渡邊 誠



街を歩いていると、遠くから赤ちゃんを抱っこした人が歩いてくるな、と思うことがあります。しかし、近づいてみると、服を着せられて抱っこされているのは赤ちゃんではなくて、ワンちゃんだった、という経験をしたことありません。動物とのふれあいは、声は大切な媒介物でしょうけれど、言語は介さず、そしてスキンシップをとる場合が多いことでしょう。このふれあいが普通に思われるよりも深いものであるとおぼしいのは、よく言われる家族同然の存在になるという話や、飼っていた動物との別れが深刻な心身の不調を引き起こす場合があることなどからもうかがわれます。

動物と人とのかわりあいは、言ってみれば動物どうしのかかわりあいで、だからこその場合でも、大人と、言語が未発達で情動が豊かという点で動物に近い子どもとのかかわりあいは、密度が濃くなりやすいですね。恋人どうしの会話も、親密になるほど言語としての比重が下がってきて、ネコどうしがにやあにやあ言いあっているようなもの(○○ちゃん「なあに？」「ううん、よんだだけ」のような)になってゆくのではないのでしょうか。

この親密なかわりあいは、その始まりは赤ちゃんと養育者との愛着と呼ばれる濃密なふれあいでしょう。それが思春期の始まりとともに対象が変わり、多くは同性との親密なかわりあいとなり、それが精神健康にとって非常に重要な役割を果たすのだ、とする説もあります。この時期は、親密さが微妙に性愛の色合いを帯びる場合もあるようですが、多くの人はその後の青年期の恋愛になって、親密な関係が本格的に性愛化することだと思います。親密さが性愛と結び付くというのは、考えてみれば不思議な気もします。

しかし、親密さの形がこのように一直線的に変化してゆくと考えるのは、ちよつと単純過ぎるでしょうか。人の成長発達というのは、



新しい変化がそれ以前の状態に、ちよつと年輪のように重なってゆくものであり、古いものが新しいものの中に内包されてゆくのだ、と考えた方がより現実的であって、考え方もしてもいろいろと都合が良いように思えます。この場合は、年齢を重ねていっても、それ以前のレベルの親密さが混在してゆくということになるのでしょうか。

赤ちゃんや子どもにとって、親密なかわりあいが重要なことは言うまでもないでしょうけれど、若い人から成人、そしてさらに年齢を重ねた時期においても、意味合いと形は変わっても、重要なものであり続けるのではないのでしょうか。親密さの得られない状態は、一言でいえば孤独ということになるかと思えますが、孤独には簡単にはうかがい知ることのできない深淵があると感じることがあります。性的マイノリティの人たちの多くが、当事者以外には想像がつかないような孤独を抱えているという話を、多少なりとも実感するとい

う経験は、恥ずかしながら私にとつては衝撃的なものでした。また、アルコール依存症を患った人の平均寿命は、独身の場合に最も低くなるといえますし、近代の大都市の最下層で極貧の中を生きた人たちのうち、最も悲惨な境遇にまで陥るのは独り者の男性であったという、歴史的な記述もあります。

良くも悪くも対人関係が希薄化して自由になり、恋人を持つ人の割合が減り、生涯独身率が増える現代日本社会の中で、人と人との親密なかわりあいはどうなっているのか、かわいがられている犬や猫たち何を意味しているのだろうか、まるで答えの無い問いに向きあっているような思いで考えています。

学生委員会

■春合宿

5月15日から17日に国立日高青少年自然の家で春合宿を行いました。今回の合宿は「学生委員として活動するための知識をつける」「合宿での学びやこれからの目標を自分の言葉で表してみる」「これから活動していく仲間とつながりをつくる」「ことを目指すことに定めて行われました。特に最終日の模擬活動をつくる時間では積極的に考える一年生の姿を見ることができ、有意義な合宿にすることができました。新入学生委員とともに行われるこれからの活動にご期待ください。

■ごみナビ

6月4日から7日に行われる大学祭に合わせ、「ごみナビ」を行います。毎年、榆陵祭事務局と協力して行っている活動です。来場者にごみ分別を呼びかけ、きれいな大学祭をつくることやごみ問題について興味を持ってもらい、考えてもらうことを目指しています。大学祭期間中、見かけましたらご協力含めよろしくお願ひします。

■学生委員会連絡先

gakusei@coop.hokudai.ac.jp

院生委員会

■院生Welcome Party開催!

院生による院生の為のウェルカムパーティーを、4月4日に今年も開催しました！道内外、様々な地域から来られた院生と交流を深めることができたと感じます。今後共力的に院生間の交流会を開催したいと思っておりますので、ぜひふるってご参加ください！



■院生委員会連絡先

http://www.hokudai.seikyounet.jp/~insei/
Email: in_block2015@coop.hokudai.ac.jp
院生委員会からのイベント等の案内を受け取れるML登録を希望される方もこちらのメールアドレスにご連絡下さい。

第2回

植物園に行こう

春から初夏の見どころ ～高山植物園～

北方生物圏フィールド科学センター植物園 富士田 裕子

北大植物園に行くにはいつが一番良いのか?とよく質問されます。迷うことなく5月の連休過ぎから6月初旬をお薦めします。北海道の冬は長く、札幌でサクラが開花するのは例年5月になってからです。北海道の春は突然やってきて、様々な花が一斉に開花します。春と初夏が一緒にやってくるようなこの時期、北大植物園でも沢山の植物が開花します。中でも高山植物園は百花繚乱となり、高山帯や亜高山帯では7月に開花をむかえるチングルマやアオノツガザクラ、エゾノツガザクラ、キバナシヤクナゲ、アズマシヤクナゲ、チシマフウロ、ミヤマオダマキ、チシマキンバイ、シナノキンバイ等が、この時期に一斉に咲きます。また、高山植物園以外にも、北大植物園で育成・開花に成功したレブンアツモリソウを含むアツモリソウ属植物の温室前での展示、樹いっばいに花をつけるハンカチノキ(中国南西部原産で、ジャイアントパンダを発見したフランス人神父アルマン・ダヴィドが初めて報告した高木)などが見ごろを迎えます(写真1)。

今回は高山植物園と2001年にオープンしたカナディアン・ロックガーデンについてご紹介しましょう。

物は、大雪、知床、日高、夕張の主要4山系に加え、阿寒山系、利尻岳、ニセコ山系、暑寒別岳、羊蹄山、礼文島などや、アポイ岳、天塩山系、大平山、岨山(きりぎしやま)などの蛇紋岩や石灰岩などの特殊な基質の山に分布しており、固有種(その国、あるいはその地域にしか生育しない種のこと)も多数みられます。

高山植物の展示を念頭に設計されたのが、園の南側に位置する面積約5,000㎡の高山植物園で、約600種が植栽されています(写真2)。1936年(昭和11年)起工、1938年(昭和13年)に完成したもので、大雪山系のトムラウシ山の八合目付近を模したロックガーデンで、張碓(現小樽市)の火成岩大小3,000個を搬入して岩組みしたものです。岩の間に鉄管を配し、噴霧式のスプリンクラーを用いて水分の補給と湿度を保ち、できるだけ高山植物の生育環境に近づけるよう設計・工夫がなされました。大正2年から昭和30年3月まで北海道大学農学部附属植物園に勤められた石田氏によると、この

高山植物園
北大植物園では、高山植物の収集が古くから行われ、育成が継続されてきました。北海道の高山植



写真1 ハンカチノキ



写真2 高山植物園

ロックガーデンには当初、道内や本州、外国産も含めた45科350種、約6,000株が植え込まれましたが、戦時中の手入れ不足のため失われた貴重種もあったそうです。しかし戦後もロックガーデンは引き継がれ、改修工事を行ったりしながら維持管理がなされ、当園の見どころのひとつとなっています。

カナディアン・ロックガーデン
2001年に高山植物園の西隣にオープンしたのが、カナディアン・ロックガーデンです。北大植物園は1995年10月にカナダのブリッティッシュ・コロンビア大学(UBC)附属植物園と学術

交流に関する一般交流協定を結びました。UBCには札幌農学校出身の新渡戸稲造博士を記念した庭園ニトベモリアルガーデンがあり、何かと北大と縁があります。協定の目的は、植物学の教育研究、植物資源の探査及び両植物園の職員・学生の交流、植物園活動の協調関係の確立でした。そこで、北米産の野生植物を植栽する新しいロックガーデンを築造することが計画されました。計画から実現まで様々な紆余曲折があり、開園までずいぶんと時間がかかりました。あまり見慣れない小型のかわいらしい植物が多数植えこまれており、今後、展示植物の充実を図ることが求められています。



北大生協きぼうの虹フォトコンテスト開催!!

テーマは「北大百景」

◆募集要項◆

- ①参加資格：北大生協組合員であること
- ②募集期間：6月5日(金)～6月26日(金)
- ③賞：特選1名、入選5名
- ④副賞：北大生協プリペイドチャージ
(特選5000円分、入選2000円分)
- ⑤募集方法：
 - (1) Webサイトから応募
「北大生協」で「検索」⇒「きぼうの虹フォトコンテスト」バナーをクリック
 - (2) 投稿フォームにて必要事項を入力の上ファイルを添付ください。
 - (3) 添付画像ファイルは5MB以内としてください。デジタルカメラ・スマートフォン等の媒体は問いません。
 - (4) テーマ：「北大百景」
北大に関するもの。人物が映る場合は、ご本人の許可を得て投稿して下さい。
- ⑥結果発表：きぼうの虹359号紙面(フルカラー)にて発表。
特選は表紙用写真として使用させていただきます。
- ⑦ご注意：
 - (1) ご応募はお一人様一点に限らせていただきます。
 - (2) 写真の著作権に関しましては、北大生協に帰属させていただきます。生協の広報物等で使用させていただくこともございます。入選された場合所属学年氏名等きぼうの虹紙面に記載させていただきます。予めご了承下さい。
- ⑧お問い合わせ先：
 - 生協会館3F生協理事会室
 - Tel：011-746-6218
 - E-mail：seikyou@coop.hokudai.ac.jp
 - 担当：きぼうの虹フォトコンテスト係

フォトコンテスト
webサイト
QRコード



柚香ちゃん プロジェクト発進!

北大北方生物圏フィールド科学センター和歌山研究林の所在地、和歌山県東牟婁郡古座川町平井地区は柚子が特産の集落です。この集落で地元の柚子を利用した加工製品を製造販売している「農事組合法人 古座川ゆず平井の里」と和歌山研究林、そして和歌山研究林での実習を経験した北大大学院生が、北大生協限定販売の新商品を企画しました。その名も「平井柚香(ひらいゆか)」、160ml ガラス瓶入りの柚子ドリンクです。

- 特徴は
- ・和歌山県古座川町平井産柚子使用
 - ・水は北海道大学和歌山研究林から取水の超軟水
 - ・古座川近隣の野生日本蜜蜂の蜂蜜添加
 - ・柚子皮ピール入り
 - ・北大大学院生が企画参加(テイस्टینگ、ラベルデザイン原案、キャラクター設定など)
 - ・北大生協限定販売
販売価格は税込200円程度
- 6月22日(月)から、会館店、中央店、工学部店、北部店で販売開始予定です。市販の柚子飲料よりも濃厚な柚子酸味、日本蜜蜂ハチミツの優しい風味、そしてちょい苦の柚子皮ピールがマッチしたリッチな飲み物に仕上がりました。皆さん是非一度ご賞味ください。
なお、プロジェクトメンバーの大学院生が北大祭で先行販売します。店舗発売が待ちきれない方は北大祭で味見してください。

予告
「パスツアー」ご案内
7月25日(土)
果物狩りと小樽運河散策
詳細は生協HP / ポスターで
お知らせします

- ① 北大主催の「留学生オリエンテーション」の場で、生協と留学生委員会の紹介とウェルカムパーティーへの誘いをさせていただきます。
- ② 「新入留学生ウェルカムパーティー」を4月24日(金)中央食堂2Fで開催。21ヶ国77名が集い、ハラルで用意した軽食やゲームなどで楽しい時間を過ごしていただきました。パーティー終了後には「日用雑貨品無料提供会」を行い、皆様から協力いただいた品々が次々と持ち帰られました。
- ③ 「中古自転車無料譲渡会」を5月17日(日)琴似で開催し、好みの自転車を自由に選んでいただき41台をお渡ししました。5月11日(月)に開催した「事前の説明会」では、自転車を安全に乗るためのマナーの講話の後、防犯登録の申請手続きを行い、譲渡会当日の詳細をお伝えしました。



留学生委員会